ヘルシンキ市より回答を得られず。ロンドン事務所によるインターネット調査で得た情報は以下のとおり。

1. デイケアセンター（daycare centres）
2. ヘルシンキ市立保育園（Municipal daycare centres）：6:15から17:30まで開園している。
3. 24時間託児所（Round-the-clock daycare centres ）：曜日を問わず24時間営業している。
4. 夜間保育所（Daycare centres open in the evening）：平日（月～金）6:15～21:00または22:00まで開所している。
5. パートタイム保育グループ（Part-time daycare groups）：1日の一部だけ幼児教育を受けることができる。
6. 一時的な幼児教育（Temporary early childhood education）：短期的な必要性から子供を保育園に通わせる。

[https://www.hel.fi/en/childhood-and-education/early-childhood-education/daycare-centres]

1. ファミリー・デイケア（family daycare）

幼児教育の一つの形態である。特に幼児や3～5歳の子どもには最適な選択肢である。少人数で家庭的な環境の中で、子どもたちが人間的に成長する機会を提供する。家庭的保育では、子どもたちは保育者の指導のもと、遊びを通して日常生活のスキルを学ぶ。幼児教育は、市の幼児教育カリキュラム、保育者自身の行動計画、グループの教育計画に基づいて行われる。保育所長または家庭保育指導員が家庭保育者を監督する。

1. 保育者の自宅で行う家庭保育（Family daycare at the caregiver's home）：家庭保育の保育者は、ヘルシンキ市の職員であり、自身の自宅で子どもの保育を提供する。グループの最大人数は4人。このグループには、就学前の子どもや午後の時間帯に来る小学生を含めることもできる。保育者と保護者は、それぞれの子どもの保護者の勤務時間、学業、またはその他の必要性に基づいて、保育時間を個別に取り決める。家庭保育者は通常、1日8～9時間、週平均40時間勤務する。
2. グループ型家庭保育（Group family daycare）：グループ型家庭保育は、ヘルシンキ市が提供する施設内で、2人の家庭保育者によって行われる。グループの最大人数は８人。このグループには、午後の時間帯に就学前の子どもや小学生を2人まで含めることができる。グループ型家庭保育施設は、7時から17時まで開所している。
3. 三家庭型家庭保育（Three-family daycare）：三家庭型家庭保育では、家庭保育者が各家庭の自宅で保育を行う。この保育は主に異なる家庭の自宅で週ごとに交替で行われるため、この形式には柔軟性と密接な協力が必要となる。各家庭が順番にグループの食事を準備し、その費用は補償される。三家庭型家庭保育グループは、7歳未満の子ども4人で構成される。このグループには、午後の時間帯に就学前の子どもや小学生を含めることもできる。グループは1～4つの家庭の子どもで構成される。三家庭型家庭保育において、子どもたちは保育中に保険の適用を受ける。ただし、ヘルシンキ市の保険は物品の損害をカバーしていない。

[https://www.hel.fi/en/childhood-and-education/early-childhood-education/family-daycare]

1. プレイグラウンドクラブ（Playground Clubs）：このクラブ活動は、ヘルシンキに住む2歳から4歳の子どもを対象としている。市が運営するプレイグラウンドではクラブが開かれており、すべて無料で利用できる。クラブでは、週に2～3回、1回あたり約2.5～3時間の活動が行われ、フィンランド語でプログラムが提供される。

[https://www.hel.fi/en/childhood-and-education/playgrounds/playground-clubs]